

<第4弾> Press Release

クルマを超えて、クルマを楽しむ。

Classic Meets Modern and Future

AUTOMOBILE COUNCIL 2025

トークセッション、多彩なテーマの10プログラム決定 無料Live配信もあわせて実施

AUTOMOBILE COUNCIL 実行委員会

4月11日（金）から13日（日）の3日間、千葉県千葉市幕張メッセで開催する「AUTOMOBILE COUNCIL 2025」。会期中に実施する、自動車、アート、旅、映画など多彩な分野からコメンテーターを迎えて、カーライフの魅力を立体的に発信する「トークセッション」のプログラムが決まりました。

2025年は、「カーセンサー」の協賛のもと2016年の初めてのトークセッション実施以来最も多い10のセッションに、合わせて22名のコメンテーターが登壇します。バイオ燃料への見識、ヘリテージカー選びといったすぐに役立つ話、気軽に楽しむ車の旅、映画など「クルマの愉しみ」「クルマを取り巻く現状と未来」を各界の知識人が語ります。

このトークセッションの様子は、AUTOMOBILE COUNCILの公式Youtubeチャンネル「AUTOMOBILE COUNCIL channel」で無料Live配信します。開催後は、アーカイブ配信で視聴できます。

URL <https://www.youtube.com/channel/UCfWi0bZhSPw7q1muspc0mvA/featured>

<トークセッション タイムスケジュール 場所：展示場内 特設会場>

開催日	プログラム
4月11日(金)	① 14:15～15:15 クルマ燃料いろいろ ～バイオ燃料の可能性～ 川本 裕喜: Haltermann Carless ジャパン合同会社社長 竹岡 圭: モータージャーナリスト
	② 16:00～17:00 ヘリテージカーはいつが買い時? ～相場・流通量変動を読み解く～ 西村 泰宏: カーセンサー統括編集長/リクルート自動車総研所長 島下 泰久: モータージャーナリスト
4月12日(土)	① 10:45～11:45 三菱自動車らしい「意のままの走り」を求めて 増岡 浩: 三菱自動車工業株式会社 理事 広報部チーフエキスパート 澤瀬 薫: 三菱自動車工業株式会社 フェロー ほか1名
	② 12:30～13:30 僕ら編集者のクルマ&カルチャー。古着を選ぶみたいにクルマを決める! 石渡 健文: エディトリアルディレクター、雑誌「BRUTUS」元編集長 町田 雄二: 雑誌「ポパイ」編集長 鈴木 芳雄: 美術ジャーナリスト
	③ 14:15～15:15 ホイチョイ的映画生活 馬場 康夫: ホイチョイ・プロダクションズ代表、映画監督
	④ 16:00～17:00 新次元の別荘とヘリテージカー「所有」から「感動」へ 佐藤 崇嗣: Blue Order株式会社 代表取締役 ユージ : タレント、ファッションモデル
4月13日(日)	① 10:45～11:45 旅するモーターホーム 水野 大册: SUV&RV専門店「BUDDY AUTO」代表 INUTABI夫妻: Youtubeチャンネル inutabifamily運営
	② 12:15～13:15 クルマがあるから、映画が楽しい ピーター・ライオン: ジャーナリスト・作家 清水 喜之: 国際自動車映画祭 代表 吉田 由美: カーライフエッセイスト、自動車評論家
	③ 13:45～14:45 アートと冒険 日比野 克彦: 現代美術家・東京藝術大学学長 風間 深志 : 冒険家/NPO法人地球元気村村長
	④ 15:15～16:15 オフ車を骨の髄まで味わう男の話 高野倉 匡人: ファクトリーギア代表、ラジオパーソナリティ 竹村 吉史: ベアハンド代表 アウトドアパークブロンコ代表

※登壇者プロフィール詳細は、別紙をご覧ください。

- ・ トークセッションは、AUTOMOBILE COUNCIL 2025にご来場いただいた皆様方どなたでもご覧いただけます。出演者・日程は、都合により予告なく変更・中止になる場合があります。その際の入場料の払い戻しは、いたしません（含む前売りチケット）。
- ・ 詳細は、公式ホームページ（URL <https://automobile-council.com>）で事前にご確認ください。

報道関係からの問い合わせ先

AUTOMOBILE COUNCIL 2025 広報事務局

Tel : 090-8940-1683 e-mail press@automobile-council.com

<トークセッション登壇者プロフィール（敬称略 五十音順 2025年3月13日現在）>

・石渡 健文：エディトリアルディレクター、雑誌「BRUTUS」元編集長



1957年東京生まれ。マガジンハウスで平凡パンチ編集部、オリーブ編集部などを経て、ブルータス編集部へ。2000年～2008年、ブルータス編集長。以後、編集担当取締役として、ブルータス、カーサブルータス、ポパイ、ターザン、ギンザなどの発行人を歴任。2022年マガジンハウス退任。FMヨコハマ「Sunday Pocket」（毎週日曜深夜24:30～）パーソナリティ。

・INUTABI 夫婦：Youtube チャンネル inutabifamily 運営



湘南を拠点に、愛犬ペコと海辺の街を巡る vlog チャンネル「海辺と、犬と。」を運営。ハイエースのキャンピングカーで車旅や車中泊イベントに参加し、キャンピングカーショーや各地のイベントで車の展示やトークショーも行う。1年前から犬連れ家族向けの移動雑貨店を立ち上げ、幅広く活動中。

・風間 深志：冒険家/NPO 法人地球元気村村長



山梨県出身。史上初となるオートバイでの北極点（1987年）と南極点（1991年）到達。バイクでのチョモランマ（エベレスト）世界最高高度記録（6,005m）樹立（1985年）など、三つの世界記録を持つ。第4回パリ・ダカール・ラリー二輪部門に日本人として初参戦・完走（1982年、18位）。NPO 法人地球元気村主宰（1993年）。

・川本 裕喜：Haltermann Carless ジャパン合同会社社長



タイヤ/ホイールメーカーで、自動車メーカー向けのビジネスに従事し、アジア・パシフィック地域の責任者や日系 OEM のグローバル事業責任者として世界中を飛び回る時期を過ごす。

2019年より、Haltermann Carless（ハルターマン・カーレス）日本法人の社長に就任する。カーボンニュートラル燃料の多様な需要に応じて、多方面で活躍中。

・佐藤 崇嗣：Blue Order 株式会社 代表取締役



1990年北海道生まれ。中央大学卒業後、星野リゾートで地域の魅力開発を手掛ける一方、ホテルのサービスマネジメント業務も経験。その後、不動産ベンチャー企業にて、年間100棟の販売を達成し、2018年にBlue Orderを創業。そして21年には、会員制プライベートクラブ「ADD」を。世界60カ国を旅した経験を活かし、地域創生・建築デザイン・余白のある豊かなライフスタイルを追求。

・澤瀬 薫：三菱自動車工業株式会社 フェロー



1988年に三菱自動車工業（株）入社。ランサーエボリューションやパジェロ、アウトランダー等の4WDシステム開発に従事。2012年国立一関工業高等専門学校教授。2017年三菱自動車工業（株）EV・パワートレイン技術開発本部チーフテクノロジーエンジニア。2022年同社フェロー。動力伝達装置、自動車の運動制御に関する研究開発に従事。博士（工学）。

・島下 泰久：モータージャーナリスト



1972 年生まれ。2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員。近著は『2025 年版 間違いだらけのクルマ選び』。YouTube チャンネル「RIDE NOW -Smart Mobility Review-」主宰。

・清水 喜之：国際自動車映画祭 代表



武蔵野美術大学卒業。Web や TVCM を中心とした広告業界において、自動車メーカーのプロモーション企画で、撮影、コピーライティング、キャスティング、ロケーションコーディネーター、イベント運営など幅広く担当。2006 年より映像制作のプレイヤーとして活動を開始。現在はクルマに限定したビデオグラファーとしても活動中。2022 年、International Auto Film Festa の活動を開始。

・鈴木芳雄：美術ジャーナリスト



1958 年東京生まれ。古典から現代美術までカバーし、『GQ』『ハーバース バザー』などの雑誌、『カーサ ブルータス』『ゲート』などのウェブメディアに複数の連載をもつ。アートと旅と本のメディア『モノクル』ディレクター。美術と編集のコミュニティ「ビジュツヘンシュウブ。」副編集長（主宰）。明治学院大学非常勤講師。2000 年～2010 年、ブルータス副編集長。

・竹村 吉史：ヘアハンド代表、アウトドアパークブロンコ代表



陸上自衛隊、CG プログラマーを経て、四輪駆動車専門の出版社フォーバイフォーマガジン社に勤務。2011 年に同社社長を辞任し、かねてからの夢でもあった秩父のオフロードコース「アウトドアパークブロンコ」をオープンして現在に至る。ボルネオやインドネシアのジャングル、オーストラリアや中国西域のデザート、ロシアのツンドラ地帯など、過酷な大地を四駆で実走して得たノウハウを活かし、四駆の正しい使い方と付き合い方を啓蒙する。

・高野倉 匡人：ファクトリーギア代表、ラジオパーソナリティ



1963年、東京・神田生まれの千葉県・柏育ち。多くの雑誌やメディアを通して、工具の魅力を伝えるハンドツールジャーナリスト。国内13店舗・海外4店舗を構える上質工具専門店・ファクトリーギアの代表取締役社長。TBSラジオ「工具大好き」（毎土曜日 16:30~17:00）TOKYO FM「TOOLS BAR RADIO」（毎金曜日 19:00~ 19:30）パーソナリティ。

・竹岡 圭：モータージャーナリスト



TVやラジオのレギュラー番組、Youtubeでの配信、雑誌やWebでの執筆、芸能プロダクションに所属してタレント業も行うなど幅広く活動する。日本自動車ジャーナリスト協会副会長、日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員、道路や自動車関連の官公庁の審議会等の委員も務める。また、レーシングチーム「圭 rallyproject」を率いてラリードライバーとして参戦中。

・西村 泰宏： **カーセンサー統括編集長／リクルート自動車総研所長**



自動車業界人として 11 年目に入る。ひとりでも多くの人が気軽に「クルマが好き」と言える世の中をつくるべく、雑誌媒体『カーセンサー』『Car Sensor EDGE』、web コンテンツ、動画、イベントなどをプロデュース。愛車は、VW カラベル

・馬場 康夫： **ホイチョイ・プロダクションズ代表、映画監督**



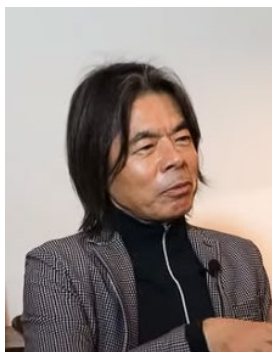
監督作品「私をスキーに連れてって」「彼女が水着に着替えたなら」「波の数だけ抱きしめて」「メッセンジャー」「バブルへ GO!!タイムマシンはドラム式」書籍/「気まぐれコンセプト」「この1本～超人気シリーズ、ひとつだけ見るとしたらコレ」他。現在、週刊誌 1 誌、月刊誌 1 誌にコミックを連載。スマホ・アプリ「東京いい店」、Youtube 番組「ホイチョイ的映画生活」を製作中。

・ピーター ライオン： **ジャーナリスト・作家**



豪州パース出身。1988 年から、東京で国際モータージャーナリスト活動を開始。(米) Car & Driver、(英)Top Gear、(伊)Quattroruote 等自動車誌に日本の新車情報を寄稿して現在、Forbes や Forbes Japan に寄稿。89 年には、日テレの戦争ドラマ「凍れる瞳」で巨人の名投手スタルヒン役を演じ、その後、伊丹十三監督の映画 2 本の英語字幕を制作した。2014 年に「サンキューハザードは世界の'愛'言葉」を上梓。25 年初頭に「Toyota Yaris WRC」上梓予定。15-23 年、NHK 国際放送の車番組「Samurai Wheels」に片山右京と共演。日本 COTY 選考委員、トヨタ「ドリーム・カー・アートコンテスト」審査員。2010 年、ドイツ・ニュルブルグリンク 24 時間レースにクラス 4 位入賞。

・日比野 克彦： **現代美術家、東京藝術大学学長**



1958 年岐阜県生まれ。東京藝術大学に在学していた 80 年代前半より作家活動を開始し、社会メディアとアート活動を融合する表現領域の拡大に大きな注目が集まる。その後はシドニー・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレにも参加するなど、国内外で個展・グループ展、領域を横断する多彩な活動を展開。また地域の場の特性を生かしたワークショップ、アートプロジェクトを継続的に発信。現在、岐阜県美術館、熊本市現代美術館にて館長、母校である東京藝術大学にて 1995 年から教育研究活動、2022 年から学長を務め、芸術未来研究場を立ち上げ、現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業、自治体との連携なども積極的に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続けている。

・増岡 浩： **三菱自動車工業株式会社 理事 広報部チーフエキスパート**

第一車両技術開発本部 担当部長 ラリーアートビジネス推進室 担当部長



ラリードライバー「パリ・ダカール ラリー」2002・2003 年総合優勝。米国の「パイクスピーク・ヒルクライム」2012・2013 年 EV クラス 2 位、2014 年 EV 改造クラス 2 位（総合 3 位）と、三菱自動車チームの 1・2 フィニッシュに貢献。現在は「チーム三菱ラリーアート」総監督として「アジアクロスカントリーラリー」2022 年総合優勝、2023 年総合 3 位のチームを率いる。

・町田 雄二： 雑誌「ポパイ」編集長



1977年東京生まれ。出版社マガジンハウスに2001年に入社。業務部門を経て、アン・アン編集部に5年ほど在籍。その後ブルータス編集部へ。『珍奇植物』、『危険な読書』などの人気シリーズを手掛けて副編集長に。2019年より編集長としてポパイ編集部へ。2021年にはポパイウェブを開設した。

・水野 大册： SUV&RV 専門店「BUDDY AUTO」代表



2001年、横浜でSUV&RV専門店「Buddy-Auto」を創業。幼少期より輸入車と4WD車に囲まれた環境で育ち、上京後さまざまな仕事を経て現在のショップを開業。

アウトドアスポーツを趣味とし、特にオートバイトライアルの選手として自身のモーターホームで転戦しながら全国各地を旅するライフスタイルを送る。

・ユージ： タレント、ファッションモデル



1987年生まれ。米国マイアミ出身。父はアメリカ人、母は日本人。5歳の時日本へ移り住む。2009年からモデル活動を中心に活躍し、その後、テレビ番組等へ出演、ドラマやバラエティ番組ほかでも活躍。2014年2月に結婚。2016年には、史上最年少でベストファーザー賞とイクメン・オブ・ザ・イヤーをダブル授賞。現在、4子の父親として育児にも奮闘中。月曜日から金曜日まで朝6時～9時生放送のTOKYO FM「ONE MORNING」のMCも務めている。

・吉田 由美： カーライフエッセイスト、自動車評論家



自動車メーカーに勤務しつつツーリングカーレースに参戦。自動車専門誌はもちろん TV、ラジオなど幅広いメディアに執筆/出演するほか、講演やパネリストとして活躍、女性からの支持も高い。現在は実用車から高性能、クラシックモデルまで試乗/レポートを行う一方で、最近では過疎化が進む地元（神奈川）の人々の“移動”問題がきっかけとなり、交通インフラとモビリティについても取材を行っている。またクルマの性能や運転の楽しさ、安全/環境啓蒙活動の一環として始めたドライビング・インストラクター、企業の講師としてのキャリアも20年以上。愛車はMTの981ボクスター。



司会：川瀬 良子（MC、ラジオパーソナリティ）



NHK Eテレ『趣味の園芸 やさいの時間』で10年間MCを務め、さらにまた、TOKYO FM「あぐりずむ」、TBS ラジオ「工具大好き！」でラジオDJとしても活躍している。そのナチュラルなトークと親しみやすいキャラクターが特徴で、幅広い年代から支持を得ている。